

錦江町成人式

笑喜 渉 (笑喜上自治会)



新年あけましておめでとうございます。
今日、この素晴らしい故郷錦江町で多くの仲間とともに無事に成人式を迎えることができ、非常に感謝しております。この成人式を迎えるにあたって、今まで支えてくれた友人、先生、そして何よりも家族に感謝したいと思います。
思えば生まれてから18年間、錦江町で過ごし、多くのことを経験させていただきました。
海や山、川、錦江湾に沈む夕日といった雄大な自然環境の中で私はのびのびと成長させてもらい、そしてその自然の偉大さにも負けにくいほどの愛をもった錦江町の人たちに支えられ、ここまで成長してきました。その私の未熟な人生の中でも、錦江中学校の一期生として過ごした一年間はおそらく一生忘れることのない経験だと思います。そこで得た多くの仲間は私にとって大きな財産です。中学校を卒業して以来の再会の人がたくさんいますが、顔を見ればその当時のことがすぐよみがえってきます。共に笑い、共に泣いたその貴重な一年間の経験は、成人を迎えた私を形成する大切な一部です。
現在、私は東京で大学生生活を送っています。経営学を学んでおり、将来錦江町に貢献できるような存在になりたいと思います。地元を離れ他のも生活を送ることは慣れないことが多く、一人暮らしでは親の大切さを改めて実感しました。しかし、新たな環境で生活することはとても新鮮で発見が多くあり、楽しみながら日々過ごしています。時には落ち込んだり挫けそうになったりしますが、「自分には心強い仲間と地元がある。」と思うと前を向いてまた頑張れます。すでに社会人として働いている人や学生として学んでいる人など、皆、道は様々ですが、そのみんなに負けずに私も日々自分を磨いていきたいと思っています。
これから成人として社会の一員になるということは、自分の言動や行動に責任を持つ大人にならなければならないということです。常に感謝を忘れずに思いやりの気持ちを持つ大人になっていきたいと思っています。最後に今日成人式を迎えられたことを本当に嬉しく思い、これまで支えてくれた人すべてに感謝したいと思います。ありがとうございました。

福岡礼央奈 (上之宇都自治会)



新年あけましておめでとうございます。
こうして立派に成人式を迎えられたのは、両親はもちろんのこと友人や先生、地域の方々のおかげです。この場をかりてお礼を申し上げます。中学校を卒業して以来の友人との再会をうれしく思うとともに懐かしい思いが込み上げてきます。
現在私は、両親の元を離れ岡山の看護学校で看護師を目指して勉学に励んでいるところです。以前の私は、特に看護師になりたいという思いはなく、看護師は人の命を預かる責任感がなくては務まらない仕事という印象が強くあったため、自分にはできるはずがない、なりたくないと思っていました。しかし、母の勧めもあり、資格だけでも取得しておこうと思い、現在の学校に通うことになりました。月曜日から金曜日の朝から夕方まで学校に通い、看護という慣れない勉強に苦戦しつつも同じ夢をもつ仲間とともに充実した日々を送っています。初めの一年間は、何で看護学校に入学してしまったのだろうと思悩んでいましたが、今では、毎日の授業や実習を通して看護の素晴らしさを実感し看護学校に来てよかったと心の底から思います。つい最近、12日間の実習を経験しました。実習では実際に一人の患者様を受け持ちその人に適した看護を提供していくのですが、患者様に必要な援助は何かを考え実践、修正、また実践を何度も繰り返し患者様が安心して療養生活を過ごせるように、帰ったら机にいくつもの参考書を広げ眠気と戦い、いつの間にか朝を迎えることも少なくありませんでした。なかなか自分の思うようにいかなくて、何度も悔しさで涙しそうになりました。そんな時私の支えとなったのは、遠くで頑張っている地元の友人の姿でした。皆の夢に向かって頑張る姿をみて私も負けてはいられないという思いで一意奮闘し実習に向き合いました。そして、患者様と関わる最後の日、患者様から「いろいろ世話をかけたね、ありがとう。これからもあなたのことを忘れずに頑張るね」との言葉をいただきました。この言葉を聞いて、自分の行ったことが患者様の役にたったのだと思い、まだ学生の立場ですが看護という役割にやりがいを感じました。こうした経験ができたのも両親がこの道に導いてくれたおかげだと思っています。あと、1年と半年を看護師になるという夢を目指して日々精進しながら頑張りたいと思います。
これから、社会の一員として一歩前進することとなります。社会の荒波にのまれて思い通りにいかないことも多々あると思いますが、負けず嫌いの性格を生かし何事にも向上心を持って取り組んでいく所存でございます。これまでお世話になった両親、友人、先生、地域の方々、そして、これから出会うすべての方への感謝を忘れず、悔いのない人生を送りたいと思います。

川路 美和 (猪鹿倉自治会)



今日、こうして生まれ育ったふるさとで、私を育ててくれた家族、先生方、地域の人々そして共に学び過ごした友人たちとの成人式を迎えることができ、本当に幸せな気持ちにあふれています。
私は現在、鹿児島大学の教育学部在籍しています。将来の夢は鹿児島島の教員になることです。なぜ教師になりたいと思うようになったのか、それは様々な人たちとの関わりあいの中で徐々に具体的な夢になってきたように思います。それは生徒会に立候補すると私が言った時の母からの「人前に立って率先して行動できるなんてすごいことなんだよ。」という言葉や、今まで担任をしてくださった先生方の励ましの言葉、時には喝を入れられることもありました。ですが、その他にもたくさんの方々からもらった言葉が私に自信と希望を持たせてくれて、今日、自分の夢に向かって日々頑張ることができているのだと思います。
高校から下宿でこの錦江町を離れ、他の人よりもこの郷土(ふるさと)で過ごした時間は短いかもしれませんが、日が暮れるまで遊び、共に部活に勉学に励んだ友、いつも優しいバスの運転手さん、図書館のおばちゃん、会うと声をかけてくれる近所の方々、その他諸々の方々との思い出は今も色濃く私の心の中に大切な思い出として残っています。小さい頃、まだ買物の仕方さえ知らない私に、お金の出し方、教える方を教えてくれた地域のおばちゃん、川を見つめていると泳いでいる魚の種類を教えてくれるおじちゃん、知らない人だけど、初めて会った人だけど、その人たちがすべてがその頃の私にとっては物知り先生でした。このような温かみのある地域で育ったからこそ、様々なことをたくさんの人から教えてもらうことができて、また、私も同じように子供たちに郷土の素晴らしさや学ぶことの楽しさを教えていきたいと思うようになりました。
最後に、このような形で私を支え、育ててくれた人たちの前で成人を迎えられたことを本当にうれしく思います。自分が学びたいことを学び、幸せに暮らしているのも、今まで様々な人たちから恩恵を受けてきたからだだと思います。成人式を迎えた今、次は私が新たな世代を支えていく子供たちにとっての物知り先生となり、またこの日本を支えていくひとつの若い力となっていきたいと思っています。そしてこの故郷に感謝と誇りの気持ちを持ち、夢に向かって日々励んでいきたいと思っています。